

		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語 【140】		朝のリレー ① 言葉に出会うために 声を届ける 野原はうたう ③ 書き留める ② 言葉を調べる 続けてみよう 1 学びをひろく はじまりの風 ④	季節のしおり 春 〔聞く〕情報を聞き取り、要点を 伝える ① 言葉1 音声の仕組みや働き ① 話の構成を工夫しよう 一枚 の写真をもとにスピーチをする ④ 漢字1 漢字の組み立てと部首 ① 漢字に親しもう1 2 新しい視点で ダイコンは大きな根？ ② ちよっと立ち止まって ③	情報整理のレッスン 比較・ 分類 ① 情報を整理して説明しよう 発 見したことをわかりやすく書く ④ 言葉2 指示する語句と接続す る語句 ① 3 言葉に立ち止まる 空の詩 〔書く〕詩の創作教室 三編 ③〔読②書①〕 言葉3 ささまざまな表現技法 ① 比喩で広がる言葉の世界 ② 文法への扉1 言葉のまとまり を考えよう ①	言葉を豊かに 心情を表す言 葉 ① 情報×SDGs 情報収集の達人になろう③〔読 ②書①〕 コラム 著作権について知ろう いつも本はそばに ② 読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を広げよう コラム 本との出会い 季節のしおり 夏	4 心の動き 大人になれなかった弟たちに …… ④ 星の花が降るころに ⑤ 項目を立てて書くこと 案内文を 書く ③ 〔推敲〕読み手の立場に立つ ① 言葉4 方言と共通語 ①	聞き上手になろう 質問で話を 引き出す ② 漢字2 漢字の音訓 ① 漢字に親しもう2 5 筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、ジジュウカラ ⑤ 思考のレッスン1 意見と根拠 ① 根拠を明確にして書くこと 資料 を引用して報告する ⑤	漢字に親しもう3 ① 文法への扉2 言葉の関係を 考えよう ② 聴きひたる 大阿蘇 ① 季節のしおり 秋 6 いにしえの心にふれる 古典の世界 音読を楽しむ いろは歌 ① 蓬萊の玉の枝 ―「竹取物語」 から④ 今に生きる言葉 〔書く〕故事成 語を使って体験文を書くこと ③ 〔読②書①〕 7 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す 〔書く〕筆者の主張に対する自 分の意見を書くこと ④〔読③書①〕	思考のレッスン2 原因と結果 ① 漢字に親しもう4 ① 〔話し合い（進行）〕進め方につ いて考えよう ① 季節のしおり 冬 話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見 方を広げる ④ いつも本はそばに ① 研究の現場にようこそ 四百年のスロウライフ はやぶさ2 最強のミッション の真実 読書案内 本の世界を広げよう	8 自分を見つめる 少年の日の思い出 〔書く〕別 の人物の視点から文章を書き 換えよう ⑦〔読⑤書②〕 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を 見つけよう② 二十歳になった日 ④	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く ⑤ 漢字3 漢字の成り立ち ① 一年間の学びを振り返ろう 要 点を資料にまとめ、発表する ④〔読②書②〕	ぼくが ここに ② 国語の力試し ③〔読①話聞 ①書①〕
書写		ペンから、文字が生まれる。〔適時〕 中学書写スタートブック〔適時〕 ■姿勢・筆記具の持ち方 ■用具の準備・片付け ■学習の進め方 ■タブレットを活用しよう ■字形の整え方	1 読みやすく書くための楷書 漢字を分解してみよう ① 漢字の筆使い ① 書写ブック ② ■漢字の筆遣い ■筆順/外形と中心	■点画の組み立て方/部分 の組み立て方 ■言葉を書くこと1 楷書に調和する仮名(いろは 歌) ②	文字の大きさと配列(俳句) ②	〔コラム〕文字の歴史を探る ①	2 読みやすく書くための行書 行書の特徴 ① 行書スイッチを入れよう ①	点画の変化 ③	書写ブック ① ■点画の変化	点画の連続③	書写ブック① ■点画の連続	〔国語〕季節のしおり ① 〔国語〕情報収集の達人になろう 〔適時〕
社会 【105】		【地理的分野】 1 世界と日本の地域構成 (1) 世界の姿 ⑤	(2) 日本の姿 2 世界のさまざまな地域 (1) 人々の生活と環境 ⑤	2 世界のさまざまな地域 (1) 人々の生活と環境 ④ (2) 世界の諸地域 (7)アジア州	(イ) ヨーロッパ州 ⑦ (ウ) アフリカ州 ⑤	(エ) 北アメリカ州 ⑥ (オ) 南アメリカ州 ③	(オ) 南アメリカ州 ③ (カ) オセアニア州 ④	【歴史的分野】 2 古代までの日本の世界導入① (1)人類の始まりと文明 (2)日本列島の人々と国家の形 成⑥	3 中世の日本と世界の導入 ① (1)古代から中世へ ② (2)鎌倉幕府の成立 ④	(3) 室町幕府と下剋上 ⑤ まとめ ①	4 近世の日本と世界 導入 (1) 中世から近世へ ① (3/6)	(1) 中世から近世へ (6/6)
数学 【140】		正の数・負の数(25) (1) 正の数・負の数 ⑤ (2) 正の数・負の数の計算 ⑩		(3) 正の数・負の数の利用 ① ◆ 章末問題 ① 文字の式(16) (1) 文字を使った式 ⑦ (2) 文字式の計算 ⑦	(3)文字式の利用 ① ◆ 章末問題 ①	方程式(16) (1) 方程式 ⑧ (2) 方程式の利用 ⑥	◆ 章末問題 ① 変化と対応(17) (1) 関数 ③ (2) 比例 ⑥ (3) 反比例 ⑤	(4) 比例・反比例の利用 ② ◆ 章末問題 ① ◆ 平面図形(18) (1) 直線と図形 ③ (2) 移動と作図 ⑦	(3) 移動と作図の利用 ② (4) 円とおうぎ形 ⑤ ◆ 章末問題 ①	空間図形(19) (1) 立体と空間図形 ⑪	(2) 立体の体積と表面積 ⑥ (3) 空間図形の利用① ◆ 章末問題 ① データの活用(12) (1) ヒストグラムと相対度数 ⑧	(2) データにもとづく確率 ③ ◆ 章末問題 ①
理科 【105】		1 いろいろな生物とその共通点 [19] 単元導入 学ぶ前にトライ ①	1章 植物の特徴と分類 ⑦ (1) 花のつくり (2) 子葉・葉、根のつくり (3) 種子をつくらない植物 (4) 植物の分類	2章 動物の特徴と分類 ⑨ (1) 動物の体のつくりと生活 (2) 背骨のある動物 (3) 背骨のない動物 (4) 動物の分類 力だめし 学んだあとにリトライ！ ① ※予備時数 ① 2 身のまわりの物質 [28] 単元導入 学ぶ前にトライ ①	1章 いろいろな物質とその性質 ⑦ (1) 物質の区別 (2) 重さ・体積と物質の区別	2章 いろいろな気体とその性質 ⑤ (1) 気体の区別 (2) 身のまわりのものから発生 した気体の区別 3章 水溶液の性質 ⑥ (1) 物質のとけ方 (2) 濃さの表し方	(3) 溶質のとけ出し方 4章 物質のすがたとその変化 ⑦ (1) 物質のすがたの変化 (2) 状態変化と温度 (3) 混合物の分け方 力だめし 学んだあとにリトライ！ ① ※予備時数 ①	3 光・音・力による現象 [25] 単元導入 学ぶ前にトライ ① 1章 光による現象 ⑧ (1) 光の進み方 (2) 光が通りぬけるときのような 3 レンズのはたらき 2章 音による現象 ⑤ (1) 音の伝わり方 (2) 音の大小と高低	3章 力による現象 ⑨ (1) 力のはたらき (2) 力の大きさのはかり方 (3) 力の表し方 (4) 1つの物体に2つの力がは たらくとき	力だめし 学んだあとにリトライ！ ① ※予備時数 ① 2 活きている地球 [24] 単元導入 学ぶ前にトライ ① 1章 身近な大地 ④ (1) 身近な大地の変化 (2) 地域の大地の観察	2章 ゆれる大地 ④ (1) 地震の発生とゆれの伝わり方 (2) ゆれの大きさ (3) 日本列島の地震 3章 火をふく大地 ⑥ (1) 火山の噴火 (2) マグマの性質と火山 (3) マグマからできた岩石	4章 語る大地 ⑥ (1) 地層のでき方と広がり (2) 地層の岩石 (3) 地層・化石と大地の歴史 (4) 大地の恵みと災害 力だめし 学んだあとにリトライ！ ① ※予備時数 ②
音楽 【45】		1 思いをこめて合唱しよう[4] ・北九州市歌・校歌 ・We'll Find The Way ・その先へ ・My Voice!	2 イメージと音楽との関わりを 感じ取ろう[3] ・イメージと音楽 ・Let's Create!	3 音楽の特徴に注目しながら、 情景を思い浮かべよう[2] ・春 ・指揮をしてみよう！	4 曲の構成を感じ取って、表現を 工夫しよう[3] ・リコーダー LESSON1 * 適宜教材を選択して扱ってもよ い。 ・主人は冷たい土の中に	5 音のつながり方の特徴を生か して、創作表現を工夫しよう [3] ・リズムゲーム、リズムアンサン ブル、リズムチャレンジ ・My Melody	6 日本の民謡やアジアの諸民族 の音楽の特徴を感じ取って、そ の魅力を味わおう[6] ・ソーラン節 ・日本の民謡 ・生活や社会の中の音や音楽 ・アジアの諸民族の音楽 7 曲想を感じ取って、器楽表現 を工夫しよう[2] ・聖者の行進(リコーダー)	8 曲想やパートの役割を感じ取 って、歌唱表現を工夫しよう [4] ・夢の世界 ・君をのせて 9 曲想と音楽の構造との関わり を理解して、その魅力を味わお う[2] ・魔王	10 日本の歌のよさや美しさを感じ 取って、歌唱表現を工夫しよ う[4] ・浜辺の歌(共通教材) ・赤とんぼ(共通教材) ・歌い継ごう 日本の歌 * 適宜教材を選択して扱う。 11 日本に古くから伝わる合奏に親 しみ、その魅力を味わおう[3] ・雅楽「平調 越天楽」 ・日本音楽入門	12 箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を 味わおう[6] ・虫づし、姫松、さくらさくら(箏) * 適宜教材を選択して扱ってもよい。 ・箏曲「六段の調」 ・「六段の調」から「四段」(箏) ・My Melody(箏)	13 仲間とともに、表情豊かに合 唱しよう[3] ・心通う合唱 * 適宜教材を選択して扱う。	
※ 国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて扱い時数や学習内容を設定し、指導すること。												
美術 【45】		1 うつつしい！ ／うつつしい！を探してみよう[2] 2 美術の扉を開こう ／「絵や彫刻」の世界 ／発想のしかたはさまざま[8]		3 見つめて、感じ取り、描く [3] 4 「ムーン								
